

TRUE OR FALSE

- 滅菌コンテナの“濡れ”は滅菌器の乾燥時間を長くするだけで解決できる。
- 134℃設定された高圧蒸気滅菌では、10⁵のBIでも、1分以内に死滅する。
- “洗浄インジケータ”のソイル(色)が落ちていればWDで処理済器材は洗浄されている。

※正答は株式会社名優HPでご確認ください。

中央材料室は病院の医療安全を支えるきわめて重要な部署です。オランダでは、Expert in Sterile Medical Devicesという理事長に次ぐ職責の中央材料室責任者が、再生処理が可能かどうかなど、厳密に医療安全の観点から、手術器材の導入可否を判断します。その判断に理事長以外は介入できません。日本であっても中材責任者の責任は重大。夜、眠れなくなるような疑問があれば、私たちに相談ください。専門家諸氏もお手伝いいたします。



Mr. Jan Huijs

ハート・コンサルタンシー社、オランダ代表。医療機器再生処理に関するコンサルタント。オランダ滅菌材料協会(SVN)会員。母国のオランダだけでなく、アフリカやアジア諸国においても滅菌に関する講義や教育研修を行う。インフラや経済的制限によりISOへの適合が困難な国で、いかにより良質の医療を提供できるか、模索を続けている。2012年、日本で「医療現場の清浄と滅菌」を刊行。

メールでのお問い合わせは以下のフォームからしていただくとおスムーズです。



Meilleur
mei ju

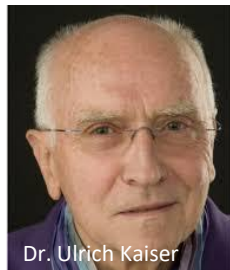
株式会社 名優

Tel: 047-480-6161

Fax: 047-480-6162

〒276-0042 八千代市ゆりのき台3-9-2

BSIやTÜVと同じく、政府や公共団体から委嘱されて安全規格への適合性につき検査・認証を行う検査機関のひとつであるSterility Assurance Laboratories (SAL) GmbHの主席研究員。BIについての権威で、ISOの規格委員を務める。



Dr. Ulrich Kaiser

GKE社代表取締役 BI及びCIの開発を経て、画期的なPCDの開発によりGKE社を滅菌保証分野で一躍世界のリーディング企業に押し上げる。ドイツ(DIN)、欧州(EN)、国際(ISO)など規格委員会の委員を歴任し、現在も活躍中。



Dr. Henning Kessler